

第 7 回 (5/28) 流行現象と集合行動

1. BBS 投稿から

「昔は階級があり、上流階級から庶民へ流行が発生し、今は階級が無いと言っていたが、今もセレブから庶民へ流行が沢山発生してると思う。」

「今でも流行はセレブリーな人から発信されていると思う。」

「私は人に流されていないと思ってたけど授業を受けて自然に流行に流されていると思ったし、意識的に流行に乗っているわけではないので流行って不思議だし、素晴らしいと思った。」

「講義を聞いて洋服を着る時に行く場所や周りの人と無意識に合わせていることに気がついた。他にも周りに合わせるということを意識していることがあるのではないかと興味深くなった。」

「あるコミュニティの中に流行ができると、自然と自分も同じことをするようになる。みんながしていることを自分もすることで、自分もそのコミュニティの一員であると思えるのかもしれない。」

「『流行は他人の目を意識するところに成立する』とあるが、私も他人の目を意識して服装などを決めていることがあるので、自分にも当てはまると感じた。『他人と同じ世界を共有する』ことができれば、共通点も多く、悪い印象は感じられにくいだろう。『他人と全く同じではイヤだ』ということに関して私は『他人の服などをそっくりそのまま真似すると、された側が嫌がるかもしれない』と考えている。」

「服装を決めるときに私は一緒に遊ぶ人によって服を変えることがある。これも、自然と他人の目を意識しているため流行が成立しているのだと感じた。」

「他人と同じ世界を共有したいが、やはり他の人と全く同じ服を着ていると無意識に少し嫌だという気持ちがあるのに気づいた。」

「流行は他人の目を意識するところに成立し、その中で 2 つの矛盾した欲求がある。一つは同調への欲求でもう一つは差別化への欲求だ。私はどちらの欲求も分かるがやはり同調への欲求の方が理解しやすいしほとんどの人が同調への欲求を意識してるのではないかなと思う。」

「流行りのものを取り入れて他人と共有する気持ちの中には、流行りに乗ることで他の人より一歩先に行きたいという気持ちも存在している。それは 2 つの矛盾した欲求によるものだと思って面白いと思った。」

「2 つの矛盾した欲求のうち、私は差別化の欲求の方があると思っていたが、よく考えると遊ぶ友だちによって服装やメイクを変えたりしているので、やはり同調への欲求もあることに気づき、面白いと思った。」

「確かにオシャレだとおもっていたものが時代と共によくみる光景になっていっているなと思った。」

「流行は集団アイデンティティにも関わっている。また、現代ではインターネットが普及し情報が一瞬で拡散されて多くの人の目に留まるため流行も盛り上がりやすいと思う。しかし一方で、一度にたくさんの情報が流れることになるので現代の流行は冷めやすく移り変わりやすいのではないかなと考える。」

「現代では SNS により動画、画像などの情報を誰もが手軽に共有でき、様々な分野の流行が非常に速く広まるようになったと感じる。バズるという言葉が生まれたのもそれが背景にあるように思う。また、流行の消滅もその分だけ速まるようになり、サイクルが以前に比べ加速していると日常の中で実感した。」

「流行の成立とその特質の話の中で、流行の例として「おこ(怒)」という言葉があげられた。この言葉は特質の 1 つである「流行は時代と不可分に結びつく」に、特に関係しているのではないか。現代はお互いを傷つけまいと深く干渉しない「やさしいコミュニケーション」を行なっている。「おこ」という言葉は「私は今怒っている」という感情を柔らかく伝えることができるだろう。この「やさしいコミュニケーション」はコミュニケーションの社会学から学んだ内容であり、授業と授業とのつながりを発見し、勉強の楽しさを知るとともに、より深く学ぶことができたと感じた。」

「日本で「ダサカッコイイ」という流行があったからこそ、DA PUMP の U.S.A.が同時に流行ったのかと講義を聞いて結びつけることができた。テレビ番組などでよく見かけるようになり、見飽きたという瞬間に流行は消滅し、その価値が低下するから、一発屋は大変だとおもった。」

ほか多数

過去の投稿から

「「シンボルの要素が境界の外部に漏出するならば、集団のアイデンティティは低減」という点である居酒屋の話の思い出しました。その居酒屋はご夫婦で営業していて、小さなこじんりとした飲み屋さんでした。その静けさや落ち着いた雰囲気が好きで通う常連さんがたくさんいました。しかしある日、常連の芸能人がテレビでそのお店を「隠れ家」として紹介しました。途端に次の日から新参の若いお客さんで溢れ、騒がしくなり、常連さんの入る隙がなくなってしまったそうです。社会的集団(居酒屋とその常連客)は、できるだけ自分化(静かな飲み屋)を保護し、外部への漏出(宣伝や広告)を防ぐために管理してきましたが、そのことが不可能となり、過剰に算出されて(テレビによって)価値の下がったシンボルの要素(常連さんの通う静かな飲み屋)を取り戻そうと、別の要素(世間体では定休日としている日を常連客のみの営業とするなど)で、代替しようとしてしました。この例で伝統的流行プロセスの衰退として当てはめられるのは、情報コミュニケーションの発達ではないでしょうか。」

2. 今回のテーマ・ポイント

-
-

3. ミクロ・モデル：心理学的決定主義

流行採用や意思決定メカニズムを諸個人の心理特性によって説明

心理特性
行動選択の意思決定プロセス } → 個人の心理的内面レベルにとどまる問題局面

問題点

- ①
- ②
- ③

他者や集団との相互作用プロセス

個人がおかれている状況そのものの変化



- 特定の心理特性がある特定の行動を導く確率が高いとしても、その個人が最終的に選択行動を「実行」するかどうかは、別の局面
- 心理特性は、実際に個人がなんらかの意思決定に従い特定の行動を「実行」するかどうかの可能性や行動性向を判断する際のひとつの基準を提供するに過ぎない

4. マクロ・モデル：社会構造的決定主義

流行採用や意思決定メカニズムを社会構造や社会的制度によって説明

流行現象は歴史的背景や社会的コンテクストにおいてはじめて成立する社会現象

but,

- 個人（行為主体）の意思決定過程
- 主観的意味づけ
- 流行の改編・再定義（移り変わり）

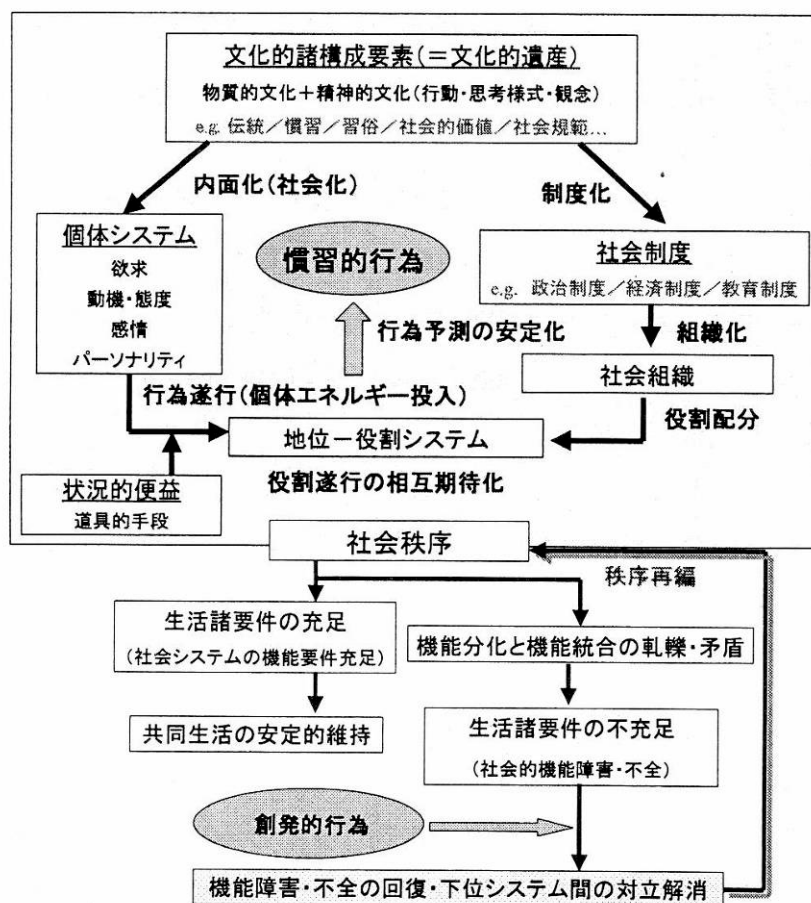


図7-1 社会秩序と慣習的行為／創発的行為

5. メゾ・レベルの分析視野

「集合的刺激の影響下にある人びとは、個人としては、そうする能力も意思ももちえないような行為を遂行することが多い…」 (Raushenbush, 1979, *Robert Park: Biography of a Sociologist*, 32-33)

分析対象

- ＊
- ＊
- ＊
- ＊

6. 集合行動

群集 (crowd)、大衆 (mass)、公衆 (public)、社会運動
群衆行動、流行、流言、パニック…

特徴

- ・
- ・
- ・

行為主体の能動性

人間行動の創発性 (

)

「ここでいう行為主体の能動性とは、行為者の意図の有無や内容と直接関係するものではなく、むしろ、社会成員が制度化された慣習的行動をもってしては解決しえない問題状況や危機的事態に遭遇したとき、また、新しい秩序やルーティーン化された日常の倦怠感からの解放を求めるとき、非制度的な手法をも活用しながら問題解決にむけた行為を集合的に創発していく精神的エネルギーの発露を意味している」 (田中・土屋 2003: 145、下線榎本)

7. 流行現象と集合行動：その社会的影響力

秩序維持の社会的装置

- ・ 社会統制力・社会統合力：旧来の秩序を強化、既存の文化的要素を再生産
- ・ 社会的カタルシス効果：既存の秩序に対する人びとの心理的不満や反発を回避・忘却、秩序への攻撃力のガス抜き

流行のもつ社会変革力：「文化変動の推進主体」である流行

- ・ 秩序再編への影響力：旧来の伝統文化に対する新しい文化的要素（意味やスタイルの創造・置き換え）

8. 参考文献

- 田中淳・土屋淳二、2003、『集合行動の社会心理学』北樹出版、第7章
安田三郎ほか編、1981、『基礎社会学 第Ⅲ巻 社会集団』東洋経済新報社、第5章
R.マートン、森東吾ほか訳、1961、『社会理論と社会構造』みすず書房

9. 次回までの課題

授業 HP の掲示板（BBS）への書き込み

- 流行現象の具体例を指摘せよ（今、どんなジャンルで、どのようなものが流行っているか）
cf. ファッション、音楽、モノ、文芸、言葉、遊び、ライフスタイル、思想、話題、トレンド…
- 1つのジャンルを選び（ジャンル1つに限定）、流行っているものをリサーチして列挙する
× 1つのアイテムを取り上げてそれについて詳しく“解説”する
○ そのジャンルのなかで何が流行っているかを複数（4～5個以上）並べてみる
- 可能であれば、それらの流行っているものに共通してみられる傾向についても一言
- 期限：1週間（6/03 23:59 まで）

10. 次々回の授業計画について

「第9回（6/11）事例研究：流行アイテムとトレンド」

- PowerPoint でプレゼン（2～3本）
- あるジャンルを取り上げ、そこで流行っているものについて紹介・解説・コメント
- ひとり 10～15分程度で

11. 次回の予告

6月4日 流行現象とモード ——パターン・機能・意味

以上

【授業 HP】 <http://t-enomoto.la.coocan.jp/komajo/>

【BBS】 <http://9113.teacup.com/tenomoto3/bbs>

今回のテーマ・ポイント

- 流行現象は「集合行動」の一部として理解することができる
- 流行現象は諸個人・諸集団間のダイナミックな相互作用によって生じる(個人の心理や社会構造だけでは説明できない)



ミクロ・モデル: 心理学的決定主義

- 流行採用や意思決定メカニズムを諸個人の心理特性によって説明
- 動機、欲求、関心、心理状態、感情、パーソナリティ(性格)



ミクロ・モデル: 心理学的決定主義

流行採用や意思決定メカニズムを諸個人の心理特性によって説明
動機、欲求、関心、心理状態、感情、パーソナリティ(性格)

問題点

- ① 動機づけや態度と、行動内容との不整合性(言行不一致)
- ② 同じような行動をとる人びとのあいだでも、その動機は多様
- ③ 意思決定基準や心理的態度は不断に変化する(つねに一貫しているわけではない)



マクロ・モデル：社会構造的決定主義

- 流行採用や意思決定メカニズムを社会構造や社会的制度によって説明
- 政治制度、経済制度、教育制度、資本主義、消費社会、情報化、マスコミ、ネット…
- 個人は主体的存在（× 受動的）



今回のテーマ・ポイント

- 流行現象は「集合行動」の一部として理解することができる
- 流行現象は諸個人・諸集団間のダイナミックな相互作用によって生じる(個人の心理や社会構造だけでは説明できない)

※ 流行現象は**集合行動**である、**社会的相互行為・集合的現象**である！



メゾ・レベルの分析視野

分析対象

- 個人レベルの行動
- 個人間の相互行為
- 集団内部での相互行為
- 複数の集団間での相互行為



集合行動

特徴

- 非制度的（組織化された現象ではない）
- 自然発生的
- 非合理的



集合行動

- 行為主体の能動性
- 人間行動の創発性
 - －（たんに伝統や慣習、制度といった既存の枠組みにとらわれるだけでなく、ときにそれらを見捨て、破棄し、乗り越えようとする）

